

2012年10月16日

金沢市長 山野之義 様

## 災害廃棄物に関する岩手県宮古市での現地調査報告

日本共産党金沢市議員団

日本共産党金沢市議員団は、「岩手県宮古市からの『漁具・漁網』を受け入れ、本市戸室新保埋立場で直接埋立する方法で受け入れたい」との本市の基本方針を受け、岩手県と宮古市における災害廃棄物の現状と取り組みについて現地調査を行いました。

- 1 目的 岩手県と宮古市における災害廃棄物の現状と取り組みについて把握すると共に、宮古市における「漁具・漁網」などの災害廃棄物の現状を調査する。
- 2 調査日時と調査先 2012年10月11日 岩手県議会  
2012年10月12日 岩手県宮古市
- 3 参加者 日本共産党金沢市議員団長 升 きよみ  
日本共産党金沢市議員団幹事長 森尾 嘉昭
- 4 調査内容
  - ① 岩手県と宮古市の災害廃棄物処理計画と現状について
  - ② 広域処理の現状と漁具・漁網の処理について
  - ③ 宮古市における災害廃棄物の処理と漁具・漁網がおかれている現状を調査
- 5 調査内容の概要
  - ① 岩手県と宮古市の災害廃棄物処理計画と現状について  
別紙 岩手県環境生活部 「災害廃棄物処理の現況について」  
※宮古市の現状についても記載されています。
  - ② 広域処理の現状と漁具・漁網の処理について  
別紙 岩手県環境生活部 「災害廃棄物処理の現況について」  
※広域処理状況が記載されています。  
※漁具・漁網は、山形県米沢市民間の「エコス米沢」で、釜石市の漁具・漁網約1000トン埋め立てた。

※岩手県全体で発生した災害廃棄物

約 525 万トン  
(県内の一般廃棄物発生量の約 12 年分)

平成 23 年度の処理済み量

約 51.4 万トン 残 474 万トン

復興資材として活用予定のコンクリートがらなど約 148 万トン 残 326 万トン

区分	可燃物	柱材・角材	不燃物	漁具・漁網	津波堆積物	合計
処理必要量	544,500	224,700	1,131,700	54,100	1,303,700	3,258,700
%	16	7	35	2	40	
その内 広域処理	63,300	174,900	892,700	54,100	なし	1,185,000

※漁具・漁網は、100%広域処理。宮古市には、14,600トン 単位トン

### ③ 宮古市における災害廃棄物の処理と漁具・漁網がおかれている現状

別紙 岩手県環境生活部 「災害廃棄物処理の現況について」

※宮古市の推定量は、732,100トン。処理量 66,430トン。進捗率 9.1%(岩手県内の進捗率が17.3%)

※宮古市には、仮設焼却炉が(2 炉 95 トン/日)が設置され、今年 3 月から稼働。

### ④放射線物質濃度

別紙 岩手県災害廃棄物処理詳細計画(概要) 3ページに記載

## 6 今回の現地調査を終えて

① 岩手県全体で災害廃棄物は、525万トン(県内の一般廃棄物発生量の約12年分に当たる)にのぼり、県内での処理を基本に、仮設焼却炉を宮古市と釜石市に設置するなど処理に全力を挙げています。現在の処理状況は、17.3%であり、今後処理量を拡大し、環境省が示す3年をメドに処理を終えるとしています。

② 漁具・漁網は、県内で54,100トンと廃棄物 525 万トン全体の1%、現在処理が残っている 326 万トンの2%です。現状では、処理されないまま残されています。

③ 宮古市では、赤前地区運動公園に設置されている破砕選別施設で視察・調査しました。漁具・漁網などが公園内にある野球場に野積みしてあり、現場の処理事務所では、浮き、金属やコンクリートがらなどを除去できるが鉛などは難しく、漁具・漁網をフレコンバックに詰める大きさに裁断するためには、専用の機械が必要とのことです。

現状から見ると、漁具・漁網を埋め立てるのが最善の処理方法なのか。分別処理の方法を含め検討が求められるのではないかとの思いです。

④ 災害廃棄物としての漁具・漁網の受け入れは、安全対策と市民の理解、合意が何よりも重要だと考えます。



